

みやぎ生協・コープふくしま  
**サステナビリティ  
レポート2023**

～持続可能な社会のための活動報告書～



# みやぎ生協・コープふくしまのめざすもの

わたしたちは、協同の力で、人間らしい暮らしを創造し、  
平和で持続可能な社会を実現します



## 「みやぎ生協・コープふくしま サステナビリティ・レポート」 発行にあたって

みやぎ生協・コープふくしまは、それぞれの創立以来、地域住民のコミュニティの中核として多数の市民を代表する組織となることを目指してきました。2019年3月には組織合同し、これまで築いてきた伝統を守り育てるとともに、新しいことにも挑戦し、さらに大きな範囲でより良き地域社会を創るために活動しています。

生協が掲げる「協同」は、市場経済で強調される「競争」がもたらす諸問題を解決する考え方です。弱肉強食の世の中ではなく、人が互いの人間性を尊重し合い、助け合うことで、「誰一人取り残さない」世の中を目指すことにつながります。これは 2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals)」の基本理念と一致します。

現在、私たちは地球的規模で生じている気候変動など環境問題や飢餓、貧困など人の生存を脅かす諸問題に直面しています。また、2019年末からのコロナ禍の下で、社会的格差など現代社会の諸問題が浮き彫りになるとともに、人々の生活様式が変化しつつあります。それらも含め、人類が解決すべき諸課題に対し、SDGs は具体的な指標を定め、社会全体が取り組むことを求めています。それゆえ、社会の一員として私たち生協もどのように貢献するかが問われています。

このサステナビリティ・レポートは、みやぎ生協・コープふくしまの事業・活動と SDGs の17目標の関係を、メンバー（組合員）、お取引先様、自治体、関係団体などの皆様にわかりやすく伝えるためにまとめたものです。

東日本大震災以来取り組んできた被災者支援はもちろん、この間積極的に取り組んできた再生可能エネルギーによる発電事業をはじめとした環境活動、開始から 50 年以上を経て、2030 年までに新たな高みを目指す「顔と暮らしの見える産直 めぐみ野」、生活相談・貸付事業、コープフードバンクなど様々な事業・活動を掲載しています。また、コロナ禍でメンバー（組合員）の生活を支えるために奮闘した職員をはじめとする関係者の姿も見ることができますので、是非ご一読いただければ幸いです。

みやぎ生活協同組合  
理事長

冬木 勝仁



## Contents 目次

環境・サステナビリティ政策	4
7つのアクションプラン	5
2030年に向けた達成目標と評価指標	7

### 1 みんなでつくる豊かなくらし

いきいきと暮らせる地域づくり	9
生産者と消費者をつなぐ	13
地産地消でつながる地域“ふくしま大豆の会”	16
東北の食と産業を伝える古今東北は8周年	17
食品の安全・安心	19

### 2 安心してくらせる地域づくり

地域のインフラとして	21
地域のセーフティネットとして	22
社会福祉の向上	23
誰も取り残さない買い物のかたち	25

### 3 公正で人にやさしい組織づくり

働きやすさとダイバーシティ	27
誇りと展望が持てる組織づくり	28

### 4 地球とエネルギーの未来のために

循環型社会の構築～3R～	29
2030年目標「CO <sub>2</sub> 排出量 80%削減」	29
再生可能エネルギーの普及拡大	31
メンバー（組合員）と進める環境活動	33

### 5 平和な社会の実現をめざして

平和な国際社会に向けて	34
-------------	----

### 6 ガバナンスと概況

経営体制と意思決定	35
みやぎ生協とコープふくしまの組織合同、 コープ東北サンネット事業連合との関係	36
内部統制	37
組織概況	38

## みやぎ生協・コープふくしまのステークホルダー（生協と関わりのある個人・団体）

メンバー（組合員）を含む消費者、職員、取引先・めぐみ野生産者、地域社会（自治体、団体、他生協）、  
地球環境（未来の人々）

### 掲載範囲

● 対象期間 2022年3月21日～2023年3月20日（特別記述がない場合）

● 対象範囲 みやぎ生協・コープふくしま、コープ東北サンネット事業連合とその子会社・関連団体  
本紙でご紹介する取り組みの該当範囲を示すため、見出しの横に以下のよう  
なアイコンを記載します。



.....みやぎ生協



.....コープふくしま



.....コープ東北

# コープSDGs行動宣言

私たちは、2018年に日本生協連で採択された「コープSDGs行動宣言」に賛同し、持続可能な社会づくりにこれまで以上に取り組みます。

## 誰もが安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します

私たちは、誰一人取り残さず、安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します。自治体や諸団体との連携を大切にしつつ、地域の見守り、移動販売や配食事業など、生協の事業や活動のインフラを活用し、地域における役割發揮を進めます。



- 1 住民参画のまちづくり
- 2 食材を安心して
- 3 食材を安心して
- 4 食材を安心して

## 健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動を進めます

私たちは、食生活、運動、社会参加の視点から健康づくりを進めます。安全・安心はもとより、より健康な食生活に向けた商品事業と組合員活動を推進します。生活習慣病や介護予防など「予防」を重視し、福祉事業や助け合い活動を広げ、自治体や諸団体と連携し、地域包括ケアシステムのネットワークに参画します。



- 11 住み続けられるまちづくり

## 地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します

私たちは、地球の持続可能性を搖るがす気候変動の脅威に対して、意欲的な温室効果ガス削減目標（2030年環境目標）を掲げ、省エネルギーと再生可能エネルギーの導入に積極的に取り組みます。再生可能エネルギーの電源開発や家庭用電気小売を広げ、原子力発電に頼らないエネルギー政策への転換をめざします。



- 13 気候変動に具体的な対策を

## 持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます。

私たちは、「つくる責任」と「つかう責任」の好循環を発展させ、持続可能な社会づくりをめざします。国内外の人々、そして限りある地域資源へ思いをはせ、商品の開発と供給を進めます。学習活動を通じて、エシカル消費や持続可能な社会に関する理解を促進し、私たち自らの消費行動やくらしのあり方を見直していきます。



- 10 人間権の実現
- 14 経済活性化
- 15 環境共生

## ジェンダー平等（男女平等）と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します

私たちは、地域における活動を通じて、社会のジェンダー平等と多様な人々が共生できる社会の実現に貢献します。女性も男性も、誰もが元気に、生きがいを持って働き続けられる生協づくりを進めます。



- 8 就業機会の均等化
- 10 入学機会の平等化

## 世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します

私たちは、誰一人取り残さない世界をめざして、世界が抱える問題についての理解を深め、助け合いの精神を貫き、ユニセフ募金などに取り組み、世界の子どもたちを支援します。「貧困」の連鎖をなくしていくために、子どもの貧困について学び、話し合う活動を広げ、子ども食堂やフードバンク、フードドライブなどの取り組みを進めます。



- 2 食糧を安全に
- 4 実の高い教育をみんなに
- 6 健康な水とトイレをみんなに
- 10 入学機会の平等化

## 核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します

私たちは、「核なき世界」の実現のために、世界の人々と手を携えて、核兵器を廃絶し、平和な社会をめざす取り組みを進めます。私たちは、次の世代に被爆・戦争体験を継承し、日本国憲法の基本原則である平和主義のもと世界平和の実現に積極的に貢献します。



- 17 パートナーシップで目標を達成しよう

## 私たち生協は、SDGs（持続可能な開発目標）に貢献することを約束（コミット）します。

私たちは、「生協の21世紀理念（1997年日本生協連総会決定）」のもと、助け合いの組織として、誰もが笑顔でくらすことができ、持続可能な社会の実現をめざし、様々な取り組みを進めてきました。誰も取り残さないというSDGsのめざすものは、協同組合の理念と重なり合っています。私たちは、あらためて持続可能な社会の実現に向けて取り組むことを、「SDGs行動宣言」としてまとめました。私たちは、以上7つの取り組みを通じて、世界の人々とともにSDGsを実現していきます。

# 未来のために今できること

---

## みやぎ生協・コープふくしま

# 環境・サステナビリティ政策

### 環境理念

みやぎ生協・コープふくしまは、メンバー（組合員）と職員の活動や事業における取り組みを通して環境負荷の低減と自然との共生に貢献し、持続的に発展する社会づくりに寄与します。

### 環境方針

みやぎ生協・コープふくしまは、食料品、衣料品、日用品雑貨等の商品をメンバー（組合員）に供給していることを踏まえ、環境理念を基に環境保全活動を進め、事業者としての社会的な責任を果たします。「脱炭素社会、循環型社会、自然と共生した社会づくり」の3つの視点で、重点課題として以下の4項目をメンバー（組合員）とともに取り組みます。

- (1) 生協事業におけるCO<sub>2</sub>の総量削減
- (2) 事業からの廃棄物の削減・再資源化
- (3) 環境に配慮した地域社会の構築
- (4) 商品事業における環境配慮

# 7つのアクション



こへぶの森づくり（詳しくは本誌 p33）

1. エシカル商品を拡大・普く消費に共感で会の中に増やし

7. メンバー（組合員）とともに環境保全活動を推進し、自然共生社会の実現をめざします。



フードバンクの活動  
(詳しくは本誌 p22)



6. 生協事業ならびにメンバー（組合員）家庭から生じる食品廃棄物・食品ロスの削減を進めます。



資源回収とリサイクル（詳しくは p29）

5. 生協事業から排出される容器包装等の回収・リサイクルを、メンバー（組合員）とともに推進します。

# ヨンプラン

消費に適応した及させ、エシカ  
きる消費者を社  
ていきます。



サステナブル商品



電気自動車



2. 生協事業のサプライチェー  
ン全体と、メンバー(組合員)  
の生活における温室効果ガス排出  
削減に取り組みます。



再エネの普及 (詳しくは p31)

3. 再生可能エネルギーの開発  
を通して、日本における再エネ導入  
量を増加させるとともに、持続可能  
な地域づくりに貢献します。

ご注文内容  
ご注文内容をメールで送信  
ご注文内容の印刷  
注文内容の確認 確認  
ご注文数  
本体価格合計 0円  
通常価格合計 0円  
運送代金  
ご注文数 0件

ご注文内容  
ご注文内容をメールで送信  
ご注文内容の印刷  
注文内容の確認 確認  
ご注文数  
本体価格合計 0円  
通常価格合計 0円  
運送代金  
ご注文数 0件

4. 生協事業で使用するプラス  
チック製容器包装と紙を削減しま  
す。また、持続可能な原材料への  
切り替えをすすめます。

宅配商品カタログのWeb化

# 2030年に向けた達成目標と評価指標

## 1. エシカル消費の拡大・普及

(年間)

- めぐみ野商品の供給高 100 億円
  - 古今東北商品の売上高 20 億円
  - サステナブル対象商品※供給高 40 億円
- ※コープサステナブルシリーズ、MEL、FSC、ASC 等認証商品

## 2. 温室効果ガス排出量削減

- 事業における CO<sub>2</sub>排出総量 80% 削減
- 2030 年までに RE100
- 2040 年までにゼロカーボン

## 3. 再生可能エネルギーの開発

- 年間発電量 8,100 万 kWh の再生可能エネルギーを開発

### 下水藻類からの油化共同研究

仙台市・筑波大学・東北大大学・パナック(株)・ヤンマー HD(株)との共同研究で、自家発電機に使える燃料開発を進めています。

### 宅配トラックの水素燃料化検討

太陽光などの再生可能エネルギーから作られた水素を燃料とした水素トラックの開発・活用について、トヨタと検討中です。



## 4. プラスチック・紙使用量の削減

- 使い捨てプラスチック製容器包装の使用量を 25% 削減 (2018 年度比)
- 商品カタログの紙使用量を 25% 削減 (2021 年度比)
- 本部・事業所での紙使用量を 10% 削減 (2021 年度比)

## 5. 容器包装等の回収・リサイクル

- プラスチック・紙の容器包装リサイクル率 85%



## 6. 食品廃棄物・食品ロスの削減

- 食品廃棄物を 30% 削減 (2021 年度比)



## 7. 環境保全活動

- 他団体を含めたイベント・学習会などの年間参加者 28,000 人



# アクションプランに込めた思い

みやぎ生協常勤理事

環境・サステナビリティ推進部兼経理部管掌

大越 健治

環境問題と社会問題を一体的に解決し、持続可能な地球と社会の実現を目指す取り組みが、いま私たちに求められています。アクションプランでは数値目標とモニタリング指標を明確に設定し、定期的な報告・進捗管理を進めています。アクションプランの実践を通じて『持続可能な世界・日本』に貢献していきます。



みやぎ生協地域代表理事

佐藤 淑子

一人一人が普段の買い物でエシカル消費をすること、食品ロス削減のためにも手前取りをすること、食べることが環境問題に対して大切なことだと考えています。また、地球温暖化防止、生物多様性の保全のためにも森林保全、環境保全の重要性は増しています。私たちがメンバー（組合員）の皆さんと一緒に取り組んでいる「こ～ふの森」の活動は大変意義のあるものです。今も様々な取り組みを行っていますが今後更にプラスチック、紙使用量の削減、再生可能エネルギーの開発が進むことを期待しています。



すべての人々が人間らしく生きられる  
豊かな地球を、未来のこどもたちへ



# みんなごくくる 豊かなくらし



## いきいきと暮らせる地域づくり

### ● メンバー(組合員)とつくる豊かな地域

生協では、メンバー(組合員)の意見を生協の運営に反映させるだけでなく、メンバー(組合員)自身が企画・参加し、交流することで地域のコミュニティ形成につなげています。2022年度は感染症対策を徹底し、オンラインなどを取り入れて活動を続けました。

#### ■こ～ぶ委員会(みやぎ) コープ委員会(ふくしま)



地域のメンバー(組合員)が組織するコミュニティで、生協の取り組みやくらしにかかわる様々なことを知り、学びながら、興味・関心のあることを自分たちで企画し、「楽しくてためになる」活動をしています。例年開催する「こ～ぶのつどい(みやぎ)」「ふれあいコープ(ふくしま)」という交流活動も主催しています。

#### ■ワ～イわい 学習&交流会



メンバー(組合員)同士が地域を超えて交流する場として、また組合員の関心あるテーマを決めて、講師を迎えて行っています。

#### ■こ～ぶ文化鑑賞会



2022年にみやぎ生協は40周年・コープふくしまは90周年を迎えました。周年企画として特別文化企画「スギテツ」コンサート・「仙台フィルハーモニー管弦楽団&岡本知高」コンサートを開催し、コンサート当日は参加したメンバー(組合員)と一緒に周年を祝いました。



## ■新しい空間 More Coop



2022年度、生協の各種サービスや活動の発信拠点として「新しい空間：More Coop」がオープンしました。利府店を1号店として、愛子店・方木田店で開始しました。宅配で注文した商品が受け取れる宅配ステーションの設置や、サービス事業部や生活文化部などが企画する様々なイベントが開催されています。店舗では「アテンダント」職員を配置し、売場案内や商品・サービスの説明・お買い物サポートなど「思いやり」・「心からのおもてなし」の気持ちをもって接客応対につなげています。



スマホ相談会

## ● スポーツで地域を元気に!

### ■U12サッカーリーグ 「めぐみ野杯」



小学生のサッカーリーグは、毎年特定チームが勝ちあがる、点差が開くなどリーグ参加のモチベーションが維持しづらくなっています。これらの問題を解消するため、(一社)宮城県サッカー協会は2022年にU12(小学生男女)の新たなリーグ戦を立ち上げました。みやぎ生協は設立40周年記念「めぐみ野杯」として協力しています。年に一度開催され、多くのチームに優勝の機会を与える特徴のあるリーグです。

### ■小学校サッカー巡回授業支援 (宮城県サッカー協会)



サッカーを通して、子どもたちの絆や健やかな成長を促進させ、心身の成長に必要な「刺激」を与えること目的とし、併せて、小学校の教員にサッカーを通じた運動、関わり方について指導ノウハウを伝授します。

2021年度より支援を開始し、2022年度は宮城県内30校で開催しました。

### ■地域プロスポーツチームへの支援



宮城県に本拠地を置く各プロスポーツチームを資金面で支援しています。まだまだ途上にある震災復興、新型コロナなどを克服し、みんなに元気をもたらしてくれるチームの勝利を願い、応援しています。(楽天野球団、ベガルタ仙台、仙台89ers、マイナビ仙台レディースなど)



## ● 子育て応援・エールアクション

みやぎ生協・コープふくしまでは、子育て応援事業活動全体を「子育て応援・エールプログラム」とし、各部が取り組む「子育て応援・エールアクション」という事業・活動を通して子育て世代を全力で応援しています。



### ■ココイククラブ



妊娠中～15歳未満の子どもを持つメンバー（組合員）を対象にした無料サービスです。専用サイトでは離乳食レシピやおすすめ絵本など、子育てに役立つ様々な情報を公開しています。

2022年度は、生協のお店で子どもたちだけでおつかいをして、保護者の皆さんは別室からリモート中継で見守るという会員限定イベントを初開催。「またお買い物したい！」というお子さんが続出しました。



ココイク会員 特典プレゼント



はじめてのおかいもの

### ■子育てひろば（みやぎ）

### ■親子ひろば（ふくしま）



0歳～未就園児とご家族を対象としたサロン活動です。年の近いお子さんを持つ親同士で交流し、「子育てが楽しい」と思える時間になっています。また様々な親子企画をオンラインや児童館などでも実施しています。



### ■子どもたちの食育をすすめる活動



食育イベントを開催しています。中でも、児童向け「5 A DAY 食育体験ツアー」、園児向け「5 A DAY たべるのねなし教室」は、参加型体験食育教室として宮城県内の小学校や幼稚園で授業として活用されています。



## ■すくすくばこ



宮城県・福島県の新生児の誕生をお祝いし、その記念として思い出をしまっておける「すくすくばこ」を無料でお届けしています。箱の中には趣旨に賛同した協賛企業様からの育児グッズなどが入っています。



## ■学校現場への支援



宮城県内の学校への講師紹介など様々な取り組みを通して、教育現場を幅広く支援しています。また、みやぎ生協の社会的活動の中で学校教育につながるものを探載した『COOP 授業に役立つ学習ガイドブック』を、宮城県内のすべての小中学校へお届けしています。



## ■コープママのWebサポートクッキング



みやぎ生協の職員で野菜ソムリエとNPO日本食育インストラクター Primary の資格を持ち、普段食育講座や様々なイベントで活躍する「コープママ」。おうち時間が増えたご家庭を応援するため、「コープママのWebサポートクッキング」を月1回ほどのペースで配信しています。



Youtube チャンネルはこちら

## ● 地域とともに子育てを応援

### ■こども食堂の支援



子どもたちの孤食を防ぎ、地域の居場所として無料または低価格で食事を提供する「こども食堂」。宮城・福島県の民間団体と連携し、店舗集会室・調理室などを提供しながら、地域の方々も含めた交流の場作りを応援しています。みやぎこども食堂ネットワークへ協力し、入会団体へのギフトカード寄贈や食品の受け渡しなど、支援のハブ機能を担っています。

### ■富谷市乳児見守りおむつ等お届け便



0歳児のいるご家庭に定期的におむつ等をお届けすることを通じて、赤ちゃんと保護者を見守る宮城県富谷市の子育て支援事業を受託しています。2023年度からは、子育て家庭の見守りに関する研修を受けた生協の職員がお届けの際に育児の悩みなどを伺い、アドバイスや市の子育て支援サービスへつなげるなどの活動も始めます。



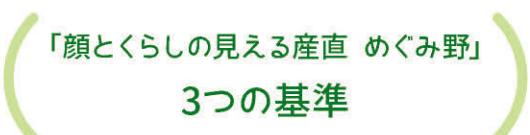
## 生産者と消費者をつなぐ

### 顔とくらしの見える産直「めぐみ野」

「顔とくらしの見える産直 めぐみ野」の取り組みを通して、自然環境や生物多様性、人を大切にする農業や漁業の維持・発展・食料自給率の向上に寄与しています。



#### ● 消費者・生産者の共通の願いを実現するために



- ①だれ(生産者)がどこ(産地)で作ったかがわかること。
- ②どのように作ったか(栽培・飼育方法)がわかること。
- ③生産者とみやぎ生協のメンバー(組合員)の交流があること。

### 私たちがつくる「めぐみ野」の未来

「めぐみ野未来プロジェクト2021」で、「安全」、「環境」、「地場」、「おいしさ」、「価格」の5つのキーワードをもとに、「めぐみ野のあるべき姿」、「2030年にできている状態」を検討しました。

プロジェクトでは「2030年の目標」として、38の項目を設定しました。

とても高い目標ですが、作る人と食べる人、産地とメンバー(組合員)をつなぐ人。立場が違う私たちだからこそ、それぞれの立場で考え方を交わし、行動することができます。

今、農業、水産業、畜産業の現場では燃料や資材の高騰が続き、産地のコスト削減の努力も限界です。地域のみんなが参加する協同の運動「めぐみ野」は、この厳しさを「私たちのこと」として捉え、生産者を支え第一次産業を守る活動をすすめます。



コープ東北  
店舗商品本部 本部長

今野 一彦

## ●「めぐみ野」と環境保全

### みんなわくわく 生き物いっぱいの田んぼ



「めぐみ野」は、有機肥料の活用など、土づくりに取り組んでいます。

豊かな土は生物多様性にも貢献し、「めぐみ野」米産地である宮城県の大崎地方は、2017年、「世界農業遺産」に登録されました。田んぼを訪れる子どもたちは「どうしてこんなに生き物がいるの?」と目をキラキラさせています。

### 飼料用米の活用

「めぐみ野」の豚肉・鶏肉・大沼牛・鶏卵・角田丸森産牛乳・銀さけの生産には、飼料用米を加えたエサを使っています。飼料用米の生産と消費が増えることで水田が維持され、それが食料を自給する力の向上と環境保全につながります。



### 持続可能な養殖業と生物多様性

「めぐみ野」志津川湾産養殖銀さけの産地、宮城県志津川は「養殖銀さけ」発祥の地です。

美しい海を守るために、水中で崩れにくく、海を汚さないペレット状（小さな固まり）のエサを与えています。また限りある資源を有効活用するために、エサの一部に宮城県産の米粉を使用しています。

志津川湾は、藻場の多様性や希少な水鳥の重要な越冬場所であることが評価され、2018年ラムサール条約（湿地保存に関する国際条約）にも登録されました。



## ● 生産者が作る「めぐみ野」旬菜市場



旬菜市場には「安全でおいしい野菜を食べたい」というメンバー（組合員）の願いと、「その願いに応えたい」という生産者の思いがつまっています。生産者が規格と価格を決めて出荷しており、種類が多くて鮮度も良く、生産者の自信作がそろっています。

めぐみ野農產品は生協版GAP※「安心くん」に取り組んでいます。

※GAPとは食品の安全、環境保全、労働安全、人権保護等、持続可能な農業を守る生産工程管理の取り組みのことです。

## ● メンバー（組合員）と生産者の交流が育む「めぐみ野」

「めぐみ野」は同じ地域・日本に暮らす者同士がお互いに交流しながら、「ともに地域をよく変えていこう、豊かな地域をつくっていこう」という事業活動・運動です。例年、季節ごとの産地見学や収穫体験のほか、店舗などでの学習会を数多く開催し、年間約8,000人がこの活動に参加していますが、2020～2022年度は新型コロナウイルスの影響で活動を縮小しました。



「顔とくらしが見える」関係は、メンバー（組合員）にとっての安心感だけでなく、「買ってくれる人がいる」「作り続けられる」という生産者の希望にもなります。

生産者の皆さんのが地域で農業や漁業、畜産業などを長く続けていくためにも、助け合う「協同」の力である「めぐみ野」の活動を大切にしていきます。

## ● メンバー(組合員)と生産者との交流から生まれた「牛乳タオル1本運動」



タオル一本運動贈呈式

1991年、メンバー(組合員)で構成された産直牛乳委員会が鳴子上原酪農組合を訪問したとき、牛乳をしぼる際に使うタオルの消耗が激しいことを耳にしました。

そこで、ささやかな支援として、家庭でねむっているタオルの提供を広くメンバー(組合員)に呼び掛ける「タオル1本運動」が始まりました。おいしい牛乳の生産に励んでもらうために続けているこの活動で、2022年度は6950本、累計13万本以上のタオルを届けています。

## 食卓に安全で安心な「めぐみ野」を

「顔とくらしのみえる産直 めぐみ野」商品は、生産者とメンバー(消費者)が一つになって育てる、みやぎ生協が誇る商品です。生産者がメンバーを思って大切に育てた「めぐみ野」商品の向こうに、メンバーは生産者の思いやご苦労を感じることができます。

宮城県に限らず、「めぐみ野」の基準に賛同した全国の生産者の商品は、環境にも人にもやさしい持続可能な活動から生まれます。そのことを多くのメンバーに伝え、応援し続けることが、「めぐみ野」商品の生産と利用を拡大します。これからも、安全で安心できる美味しい「めぐみ野」商品が食卓に並ぶことを願います。



みやぎ生協  
地域代表理事

石川 宣子

## 地産地消でつながる地域“ふくしま大豆の会”——



生産者・加工業者・消費者が連携し、福島県産大豆を使った安全安心な商品(納豆・豆腐・みそ、醤油など)を作り、利用する地産地消の推進に取り組んでいます。大豆の生産者や加工業者と連携して毎年「畑の学校」という活動の中で、消費者が種まきから収穫、みそ造りまで体験して生産者などと交流しています。





## 東北の食と産業を伝える古今東北は8周年

東  
北



### 岩手県軽米町産そば粉使用 つるんと南部そば



香り高い岩手県軽米町産そばの風味をお届けします。  
全ての原料に岩手県産を使っています。  
小麦粉は岩手県産「銀河の力」、塩も  
「宮古の塩」を使っています。

株式会社小山製麺様

### 山形県鶴岡産民田なす使用 ピリコロなすの辛子漬け

山形県で江戸時代から生産されている  
「民田茄子」を美味しい漬物、辛子漬け  
にしました。丸小茄子はしまりが良く、  
歯ごたえのある味をお楽しみください。

生産者 菅原陽子さん



### 青森県産米(まっしぐら)使用 ガツンとにごり原酒

旨みの強い青森県産米まっしぐらを使って、原酒のままお届けします。度数の高い原酒をにごり酒にすることで、飲みごたえと飲みやすさを実現させました。



桃川株式会社様 取締役生産本部長 小泉光悦さん

### ● 生協以外の販路

みやぎ生協・コープふくしま以外にも販路を広げるために、コープ東北の子会社（株）東北協同事業開発のもとで開発される「古今東北」商品。全国の生協のほか、地域の小売店、楽天市場でのネット販売にも広がり、取り扱うアイテム数も増え続けています。



2022年11月にデビュー8周年を迎えた古今東北ブランド。東北6県の食材や加工品を全国に発信し、販路を拡大することで復興と地域振興を後押しすることをめざしています。商品開発では、宮城学院女子大学の学生とのコラボ商品も生まれています。



## 福島県産伊達なしらす ピリ辛佃煮(ゆず風味)

福島県相馬沖で水揚げされた「しらす」は、宮城県の網上でそのうちに釜茹でされます。そのまま、宮城県産ゆずを使って味付けして、ゆず風味の佃煮に仕上げました。

株式会社海祥様



## 秋田県産比内地鶏入り やわらか鶏つくね串



歯ごたえとうまみのある比内地鶏と東北産の鶏肉を原料に、旨みの強い鶏つくね串にしました。  
美味しいつくね串をお楽しみください。

株式会社田口フードサービス様  
営業部長 北嶋仁志さん

## 福島県伊達産 とろ甘あんぽ柿



製造を開始してから100年目に当たります。蜂谷柿を原料にして、とろとした甘みのあんぽ柿に仕上げます。  
丁寧に育ててほし上げたドライフルーツです。

種まきうさぎ株式会社様  
取締役 岡崎靖さん



(株)東北協同事業開発  
取締役 開発・営業部長  
丹野 潤一

## 地域に貢献できるブランドを目指します

「古今東北」ブランドは、震災復興や地域経済の活性化という理念で開発された商品ブランドです。東北の生産者の方たちの理解を得て、多くの商品開発が行われました。さらに、多くの販路も生まれました。東北の原料を中心に開発することで、東北の地産地消にも貢献することができます。「古今東北」は、東北の原料を使用することで、東北の商品を全国にも紹介していくプラットフォームの役割を担っていきたいと考えています。



## 食品の安全・安心

いつの時代も変わらない「安全な商品を安心して利用したい」というメンバー（組合員）の願いを叶えるため、生協は設立以来、安全でより良いものを供給することを事業の重要な柱としています。

### みやぎ生協・コープふくしま 食品の安全・安心に関する基本方針

みやぎ生協・コープふくしまは、メンバー（組合員）が安心して食品を利用できる生協づくりを進めます。取引先および生産者と共に、取り扱う食品の安全管理のレベルを向上させ、食に関するメンバー（組合員）の願いの実現をめざします。そのために、以下の基本方針に基づく取り組みを進めます。

- ① 取引先、生産者、メンバー（組合員）とコミュニケーションをはかり、生産・仕入れ・製造・加工・メンバー（組合員）への供給の各過程を通して、食品の安全性を高めます。
  - (1) 食品の安全マネジメントシステムで適切な課題・目標を設定して実行し、その進捗状況を検証し、定期的に見直し、継続的な改善ができる仕組みをより確かなものにし、運用します。
  - (2) 重大商品事故の兆候を見逃さない仕組みを向上させるとともに、万が一重大商品事故が発生した時の被害を最小にするため、対応方針・手順を明確にし、訓練します。
  - (3) 安全な食品をお届けするために必要な職員の力量を高めるために、教育・啓発を計画的に行います。
- ② 食品の安全や衛生に関する法令・規制を順守するとともに、必要に応じてそれらに基づく内部ルールを制定し管理を進めます。
- ③ メンバー（組合員）と産直生産者の交流を活発にし、「顔と暮らしの見える産直」の運動の輪を広めます。
- ④ 県内産・国内産食品の取り扱い拡大と食料自給率の向上に寄与する活動を進めます。
- ⑤ 食に関する学習・体験の活動にメンバー（組合員）や他団体と協力して取り組み、安心できる食生活の実現に貢献します。

食品の安全・安心に関する基本方針は、生協内外に公表します。

2011年4月2日 みやぎ生活協同組合

### ● 商品の安全対策課

#### ■ 食品の安全マネジメントシステム

各部署で、「食品の安全・安心に関する基本方針」に基づく目標と課題を立て、進捗状況を確認しています。その取り組みの有効性は、内部監査や外部検査の結果も踏まえて評価し、目標に至らない場合には原因を明らかにして対策を補強することで改善を積み重ねています。

#### ■ お申し出対応教育

2008年「中国製手作り餃子農薬混入事件」のときに決意したこと・反省したことを風化させないため、採用時と毎年2月度に、事件の内容と教訓、信頼されるお申し出対応について職員全員が学習・確認しています。

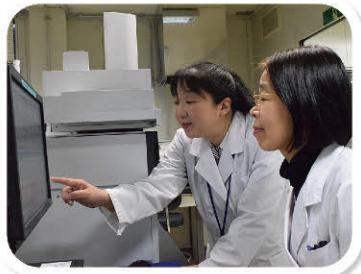
#### ■ 重大商品事故管理システム

重大な事故につながりかねない兆候を見逃していないか、お申し出に対する判断や対応に誤りは無いか、お申し出となった原因解明と再発防止策はしっかりと行われているかなど、最後まで対応状況を監視しています。



## ●商品検査センター

商品検査センターでは、店舗や宅配で扱っている商品（インストア商品含む）について、微生物検査や残留農薬検査、放射性物質検査を行っています。



メンバー（組合員）の皆様に安心して商品を利用していただくために、生協の宅配や店舗で取り扱う商品の安全性を科学的に検証しています。



## ●2022年度 商品検査検体数一覧

### 微生物検査

	検体数
宅配商品	1,027
店舗加工商品	1,544
店舗一般商品	496
COOP商品 生産部商品	562
取り扱い前商品など	1,168
合 計	4,797

※検査結果は店舗やメーカーの衛生管理向上のために活用しました。



### 残留農薬検査

	検体数
「めぐみ野」野菜	318
「めぐみ野」米	14
一般商品	7
合 計	339

※検査結果は、産地の栽培計画や管理向上のために活用しました。  
※めぐみ野品は栽培計画を作成し産直使用農薬を決めて栽培しています。  
(産直使用農薬：「使用を判断する4つの基準」に基づき使用できる農薬を決めています)



### 放射性物質検査

	検体数
「めぐみ野」品、コープ東北産直	65
アクアクララ水	6
大豆の会	6
一般市場品（野菜・果物）	10
一般市場品（魚介類）	3
合 計	90

※すべて基準値内であることを確認しました。





# 安心してくらせる 地域づくり



## 地域のインフラとして

### ● 地域の見守り活動

#### ■ 高齢者の見守り

宮城・福島県内の自治体と「高齢者見守りの取り組みに関する協定」を締結しています。

宅配、ふれあい便、夕食宅配では、配達時にいつもと違う状況に気付いた場合に行政窓口へ連絡し、安否を確認しています。



2022年度メンバー（組合員）  
異変発見件数

宅配	13
夕食宅配	11
ふれあい便	19
計	43



### ● 自治体等との連携

#### ■ 包括連携協定

宮城県内の自治体と包括連携協定を締結しています。「誰もが安心してくらせる地域づくり」に向け、これからも幅広い分野で連携していきます。

#### 協定締結自治体一覧

宮城県10市町(2023年4月末時点)

- 宮城県 ●東松島市 ●石巻市 ●七ヶ宿町 ●塩釜市
- 大崎市 ●富谷市 ●仙台市 ●白石市 ●利府町 ●栗原市

#### ■ 災害時における応急生活物資の供給協定

宮城県・福島県で合わせて28自治体、3団体と「災害時における応急生活物資の供給協定」を締結しています。また、2つの広域消防組合と「緊急消防援助隊派遣時における食料物資の供給協力協定」を締結し、近年頻発している大規模自然災害時に備えています。

#### 災害時物資協定 締結自治体・団体一覧 (2023年4月末時点)

- 自治体**
- 宮城県25自治体
    - 仙台市 ●塩竈市 ●多賀城市 ●松島町 ●七ヶ浜町 ●利府町 ●大和町 ●大郷町 ●富谷市 ●大衡村 ●名取市 ●岩沼市 ●亘理町
    - 元町 ●登米市 ●石巻市 ●大崎市 ●東松島市 ●白石市 ●加美町 ●南三陸町 ●気仙沼市 ●大河原町 ●七ヶ宿町 ●涌谷町
  - 福島県3自治体
    - 福島市 ●玉川村 ●浅川村

- 団体**
- 宮城県 ●日本赤十字社宮城県本部 ●株フクダ・アンド・パートナーズ
  - 福島県 ●社会法人福島県老人施設協議会

#### 緊急消防援助隊派遣時における食料物資の供給協力協定

- 仙台市消防局 ●石巻地区広域行政事務組合

## ■首長・議員懇談会

宮城県・福島県の首長や宮城県議・仙台市議と、メンバー・組合員との懇談会を年に1回行っています。「誰もが安心してくらせる地域づくり」というテーマで、生協と行政それぞれの取り組みについて情報交換し、メンバー・組合員からは地域住民としての率直な意見を直接行政に伝える貴重な機会になっています。



宮城県大和町



福島県郡山市



## 地域のセーフティネットとして

### ● くらしと家計の相談室(生活相談・家計再生支援貸付事業)



家計見直しのアドバイスや、金融機関からの借り入れができない場合の生活資金のご相談など、お金に関する様々なご相談をお受けしています。相談内容に応じて、公的支援や法的制度をご案内し、生協独自の貸付支援も検討します。また、宮城県および仙台市の委託を受け、「生活困窮者自立支援制度家計改善支援事業」の窓口として地域社会に貢献しています。



内容によってはすぐに弁護士などの専門家や消費生活センター、警察、行政などの公的機関等へつなぐなど、相談者の問題解決をサポートします。

### ● コープフードバンク



お取引先様などから余剰食品の無償提供を受け、社会福祉団体などに無償で提供しています。食品の無駄をなくすとともに、誰でも安心してくらせる地域づくりをめざしています。



### ● フードドライブ

みやぎ生協のフードドライブは、支援を必要とする施設や団体とつながり、ニーズに合った食品をメンバーに呼びかけています。

2022年度は42店舗(57エリア)、八乙女本部で実施し、11,511食をのべ75団体へ寄贈しました。





## 社会福祉の向上

### ● 社会福祉法人 こーぶ福祉会



介護・福祉事業を担うこーぶ福祉会は、在宅高齢者向けの介護拠点を宮城県仙台市内の3か所に設置しているほか、サービス付き高齢者向け住宅「こ~ぶなごみの杜桜ヶ丘」を開設し、高齢者の自立した生活を支援しています。また、職員の子育て応援として、事業所内保育園「コープこやぎの保育園」も仙台市に設置しています。



### ■みやぎ生協桜ヶ丘店に地域包括支援センター

仙台市の委託を受け、こーぶ福祉会が運営している桜ヶ丘地域包括支援センターは、みやぎ生協桜ヶ丘店の一角にあります。お店の中にあることで、買い物ついでに気軽に寄ることができます。

### ● くらしの助け合いの会



「住みなれた地域で安心してくらしたい」「少しの手助けがあれば自立した生活が出来るのに」という思いを抱える会員どうしの助け合い、支え合いの活動です。高齢の方、障がいのある方、子育て中の方などのために、くらしの困りごとを、活動できる会員が有償でお手伝いしています。

#### 活動内容例

- 室内の掃除
- 通院など外出の付き添い
- 食事作り
- 産前産後の支援
- 話し相手
- 草取りなど
- 買い物



## ● 民間団体への支援

### ■みやぎ生協福祉活動助成金

地域福祉の向上をめざし、福祉活動に関する地域活動や研究活動を支援する事業に、毎年2回、総額1,000万円を上限に助成金を贈呈しています。贈呈式には助成団体が集まるため、分野を超えた団体の交流の場にもなっています。



#### 2022年度上期 助成団体 (20団体)

- 気仙沼市赤岩児童館子育てネットあかいわ
- 一般財団法人メンタルケア協会宮城事務所
- Let's Fit～繋～
- 八木山地域再生・創生ボランティアグループYARVOG
- 居場所ステーション
- 気仙沼子育てコレクティブインパクトプラットフォーム「コソダテノミカタ」
- Naritaマルシェ
- 特定非営利活動法人みやぎ県子ども・おやこ劇場
- いすみワクワク食堂
- フードパンク仙台
- 一般社団法人スタンドアップ亘理
- 優生手術被害者とともに歩むみやぎの会
- もりの工房
- 私をアップデートするコミュニティはんずあっぷ
- 特定非営利活動法人障がい者の暮らしとお金の相談室
- 桜会
- 子どもも親も楽しむ親子食堂
- よーし・えんぐみcafe-sendai
- 特定非営利活動法人こころのテラス
- DATE na sendai collection 実行委員会

#### 2022年度下期 助成団体 (22団体)

- こども食堂世話人会
- こども映画館クラブ
- 一般社団法人フリースペース道
- ライクミー(ダブルケラー支援団体)
- こども食堂バンビーニ
- トライ・エッグ・コム(「ゴスペルカフェこども食堂」)
- ほっこり食堂
- 一般社団法人アトリエ虹色たまご
- 任意団体不登校サロンあとりえ凧
- Let's Fit～繋ぐ～
- わくわくこどもカフェ
- いすみ臓がん患者と家族のおしゃべりサロンぶどうの木
- パストラル・ハープ ミニストリー
- 七北田宿研究会(旧・郷土史サイクル いすみのふるさと)
- 市民公益活動団体石巻キャリア教育推進ネット
- 一般社団法人フレーワーカーズ
- 発達支援ひろがりネット
- 親子の居場所・Clover
- 特定非営利活動法人パソコン要約筆記文字の都仙台
- 気仙沼・南三陸地区住民の健康を支える会
- こども・スポーツネットワーク
- DATE na sendai collection

### ■COOPトリプルカード みやぎスマイル基金



みやぎ生協と(株)日専連ライフサービス様が社会貢献を目的に協力して始まった「みやぎスマイル基金」。COOPトリプルカードでの決済1回につき1円を1年間積み立て、年に1度、学校や学生が取り組む地域貢献活動へ助成しています。



#### コープトリプルカード

みやぎ生協、日専連加盟店、JCB加盟店で利用できるクレジットカードです。

#### 2022年度 助成団体 (6団体)

- 宮城県柴田農林高校 川崎校
- 宮城県農業高等学校
- TSALL東北
- 宮城学院女子大学 てとてプロジェクト
- 尚絅学院大学 笑顔でつなぐSDGs七夕飾りプロジェクト
- 宮城大学 地域資源マネジメント研究室



## 誰も取り残さない買い物のかたち

### ● 店舗事業



買い物に困難を抱える方をサポートできるサービス・ケア・アテンダント資格者の育成や、バリアレスな店舗内装など、地域の皆さんのが買い物をしやすいお店づくりをめざしています。



▲ご要望が多いセルフレジの導入を拡大しています。



▲セルフレジでは、お買い物精算中、お困りのメンバー（組合員）さんにに対して素早く、きめ細かな接客を心がけています。



▲アクリル板やマスクで「互いの声が聞きづらい」という問題を解消するため、サービスカウンターとレジにマイクロマイクスピーカー「Kiceri（キコエリ）」を設置しました。

### ■ 地域密着型コンビニ Family Mart + COOP

みやぎ生協の子会社が運営する「Family Mart + COOP」は、地域のくらしに役立つ店舗として、宮城県七ヶ宿町、仙台市鶴ヶ谷に2店舗営業しています。お買い物だけではなく、地域のコミュニティの場として、「昔ながらの商店」のような地域密着型のお店づくりをめざしています。



### ● 宅配、夕食宅配事業



地域の高齢化が進む中、宅配事業に求められる社会貢献としての役割も大きくなってきています。個人宅配時の在宅状況を離れて暮らす親族へメールでお知らせする「個配メールサービス」をはじめ、子育て支援の「ママ割」や「シニア割」「障がい者サポート値引」「介護サポート値引」サービスのご利用案内、平日毎日お届けの夕食宅配サービスでの見守り活動など、安心してご利用いただける取り組みを進めています。



## ● 移動店舗せいきょう便



現在、宮城県8店舗、福島県1店舗を拠点に運行しているせいきょう便。年々深刻になる買い物困難地域のニーズに対応しながら、運行台数とエリアを拡大し続けています。



運行エリア



### 稼働台数

宮城県内 14台  
福島県内 1台

(2023年3月20日時点)



## ● 買い物代行サービスこ～ぷふれあい便



会員登録をしていただいた方を対象に、週2回、お店の商品を自宅まで届ける買い物代行サービスです。現在は宮城県内17店舗で取り組み、地域の見守り活動としても役立っています。



### 利用の流れ

ご注文内容の確認

▼  
店で商品を選ぶ

▼  
レジで会計

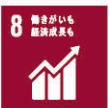
▼  
セット

▼  
積み込み

お届け・次回分注文聞き取り



# 公正で人にやさしい 組織づくり



## 働きやすさとダイバーシティ

みやぎ生協・コープふくしまでは、さまざまな雇用形態、ライフステージの人々が働き続けられる組織をめざし、多様な人材が活躍できる仕組みづくり、コミュニケーションの活発化に努めています。

### ● サークル活動支援制度

スポーツや趣味を通じて、部署・事業所の枠を超えたコミュニケーションを促すための支援制度。活動内容や活動計画などを申請してサークルとして認められれば、活動費用の一部を生協が支援しています。現在は26のサークルが登録されています。



### ● 障がい者雇用

現在、みやぎ・ふくしま合わせて130人の障がい者が店舗を中心とした事業所で働いています。それぞれの特性や能力を活かせるよう、周囲の職員や労政部が力を合わせ、何かしらの制約がある人も働く環境を作っています。受け入れる職員の理解と配慮の工夫も広がり、みやぎ生協への就労希望者は増えています。



## 育児・出産・介護休業

みやぎ生協・コープふくしまでは、職員が出産後や、育児・介護の最中でも働き続けられるよう、法定基準以上の制度を整備し、ポスター等で周知しています。また、労政部職員が個別の相談に応じています。

## ■出産・育児支援制度

制度名	内 容	2022年度利用人数
配偶者出産休暇	通算2日以内で取得可能。	15人
妊娠時短	1日1時間取得可能。	9人
育児休業	①子どもが満3歳になるまで取得可能。 ②産後パパ育休（子の出生後8週間以内に4週間まで、2階分割して取得可能）	① 68人 ② 4人
育児時短	子どもが小学校3年生の修了まで取得可能（短時間勤務）。	36人
子の看護休暇	小学校就学前までの第1子の場合は年間5日、 2子以上の場合は年間10日、1日単位で取得可能。	13人

## ■ 介護支援制度

制度名	内 容	2022年度利用人数
介護休業	対象家族1人につき1年取得可能（アルバイトは法定の通算93日間）。	26人
介護時短	短時間勤務	4人
介護休暇	対象家族が1人の場合は年間5日間、2人以上の場合は年間10日間、1日単位で取得可能。	25人

## ● リハビリ勤務制度

メンタル不調で休職した職員がスムーズに復職できるように、産業医、健康管理室、労政部が協力して支援する制度があり、復職後の就労支援を行います。

また、がんや難病と仕事を両立するために、該当部署、健康管理室、労政部が協力して支援しています。

## 誇りと展望が持てる組織づくり

### ● しごと報告カード

「しごと報告カード」は、仕事の中で発見したこと、改善のため  
に実行したことなどを記入して提出するものです。優れた「しごと  
報告カード」を半期に一度表彰します。

また、「しごと報告カード」で業務改善につながる提案も集め、さらなる生産性向上や、働きやすい職場環境づくりをめざしています。



# 地球とエネルギーの 未来のために



## 循環型社会の構築～3R～

### ● メンバー(組合員)からの資源回収



店舗にリサイクルボックスを設置し、古紙や牛乳パック、プラスチック容器などを回収しているほか、自治体の事業に協力し、小型家電や使用済み食用油の回収ボックスを設置している店舗もあります。

### ● みやぎ生協リサイクルセンター



みやぎ生協では、事業所からも廃棄物を集め、自ら分別、収集、再資源化しています。紙類やプラスチック類のほか、店舗の農産・惣菜部門で発生した食品残さも集めており、エコフィード化※して県内外の用養豚場に出荷しています。これにより、高い食品リサイクル率を維持しています。

※乳酸発酵による液状飼料化

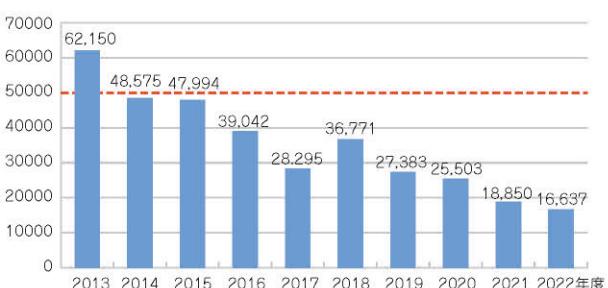


2030年目標

「CO<sub>2</sub>排出量 80%削減」

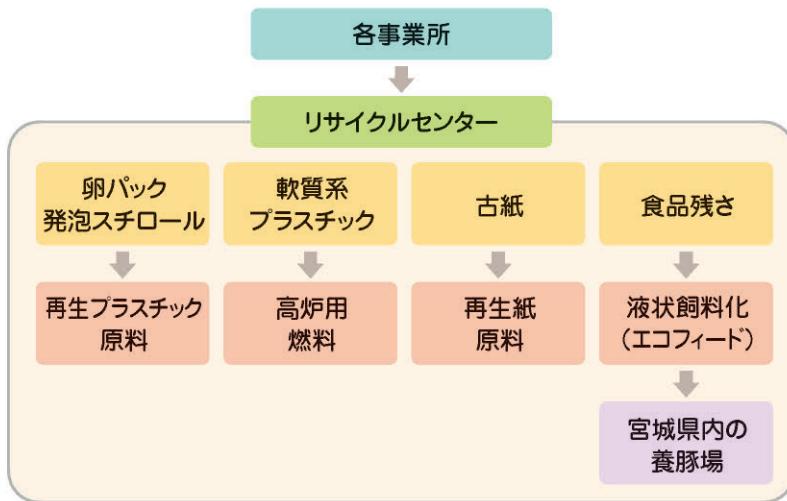
2022年度末時点で「2013年比75%削減」に到達したため、昨年まで掲げていた「2013年比65%」を上方修正しました。具体的には、地球温暖化係数(※1)のきわめて低い自然冷媒(CO<sub>2</sub>冷媒)を使った冷凍・冷蔵設備の導入、電気自動車の導入、再エネ電力比率の高い電力への切り替えなどに取り組んでいます。

CO<sub>2</sub>排出量 (t-CO<sub>2</sub>)

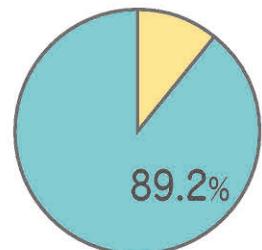


(※1) 大気中に放出されたときに、一定時間内に地球に与える温暖化への影響の比率。

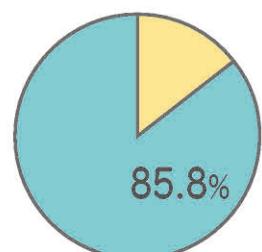
(※2) 使用済み食用油を原料にした軽油の代替燃料。Bio Diesel Fuel の略。



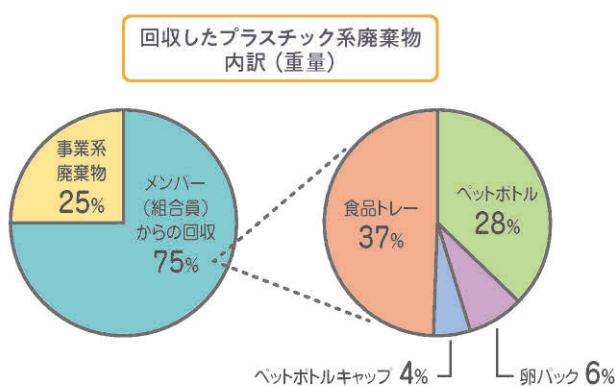
事業系廃棄物の  
リサイクル率



食品リサイクル率



### ■プラスチック資源 100%リサイクル



レジ袋の有料化に取り組むほか、メンバー（組合員）や事業所から集められたプラスチックごみのリサイクルに取り組んでいます。回収したプラスチックごみは、再生プラスチック素材や高炉用燃料として、ほぼ100%再利用されています。

### ● みらいにやさしい COCOENE(ココエネ)



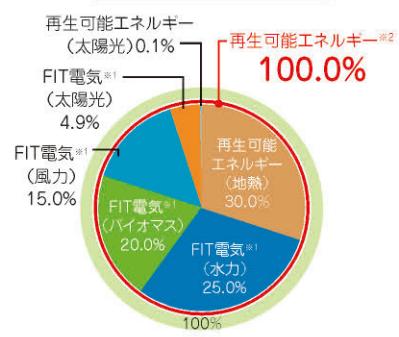
太陽光、風力、水力、バイオマスの自然エネルギーにより発電されたFIT電気・再生可能エネルギーの比率が100%(2022年度計画値)の「ソフトでんき」の販売を実施します。

東北地方にある自然のエネルギーで発電された「地産地消」の再生可能エネルギーの利用を広げることで、再生可能エネルギー発電の拡大とエネルギー自給率向上などに寄与します。

(※1)FIT電気を含みます。(※2参照)

(※2)この電気を調達する費用の一部は、当社以外のお客様も含めて電気の利用者が負担する賦課金によって賄われており、当社が販売するFIT電気は、CO<sub>2</sub>排出量について、火力発電なども含めた全国平均の電気のCO<sub>2</sub>排出量をもった電気として扱われます。

ソフトでんき電源構成  
(2022年度計画値)





## 再生可能エネルギーの普及拡大

### ● 共同事業 「地域連携・低炭素水素技術実証事業」

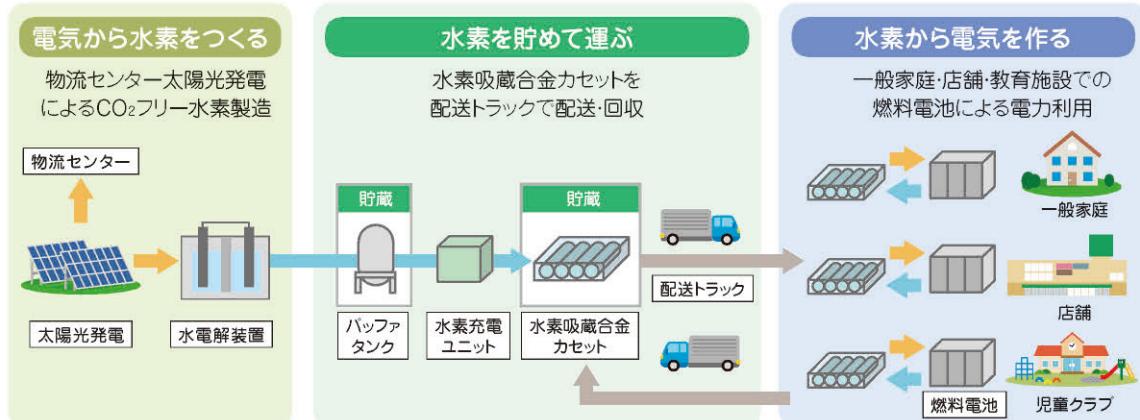


環境省が進める「地域連携・低炭素水素技術実証事業」の一環として、水素エネルギーを利活用するサプライチェーンを構築する実証事業に参画しています。2017年に宮城県富谷市で実証実験を始め、そこで培われたデータを活用し、福島県浪江町で社会実装に向けた取り組みが2021年度に始まりました。

#### 事業参画者

- 株式会社 日立製作所
- 丸紅 株式会社
- みやぎ生協
- 富谷市または浪江町

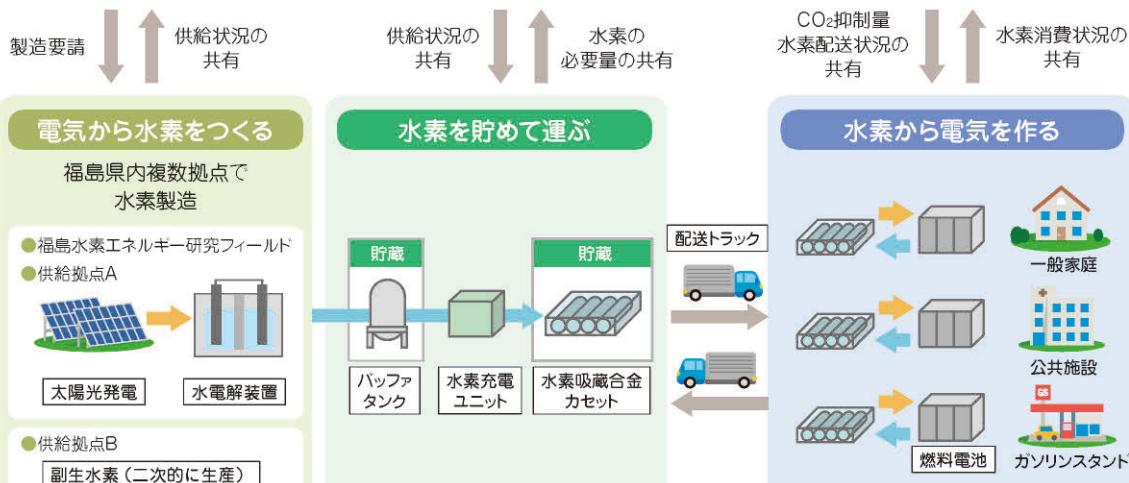
#### ■ Step1 安全性を含む技術実証（宮城県富谷市）



#### ■ Step2 水素サプライチェーンの社会実装（福島県浪江町）

##### 水素アグリゲータ

IoTを活用し、水素の製造量、貯蔵量、消費量の情報を管理し、需要と供給のバランスを調整する



## ● 再生可能エネルギー発電への投資



### ■ 羽川風力発電



## ソーラーシェアリング発電所への投資

### ■ 福島市岡島ソーラーシェアリング



福島県福島市岡島地区でブドウを栽培している長谷川農園さんの農地にソーラーパネルを設置し、売電収入の一部を信達青果生産出荷組合連合会に寄付しています。

### ■ 二本松営農ソーラー



(株)ゴチカン、ISEPと協力し、福島県二本松市の耕作放棄地をブドウやエゴマなどの農地に変え、その上に約6万m<sup>2</sup>のソーラーパネルを設置しました。電気はみやぎ生協が購入する予定です。

## ● 環境にやさしい商品の普及

「顔とくらしの見える産直めぐみ野」商品、地産地消商品、環境配慮商品の普及拡大に取り組んでいます。このことで、低炭素社会、循環型社会、自然との共生（生物多様性）をめざしています。

### ■ 主な環境配慮商品



#### エコマーク

生産から廃棄を通して環境負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品



#### FSC（森林管理協議会）

責任ある森林管理をしている林業者を支援し、世界の森林保全貢献につながる木材製品



#### MSC（海洋管理協議会）

海の資源を枯渇させないよう、漁獲量や漁法量の時期、生態系などに配慮した漁業で取られた水産製品



#### レインフォレスト・アライアンス認証

環境保護・労働者や家族の生活向上など、持続可能な農業のための包括的な基準を満たした農園に与えられる認証

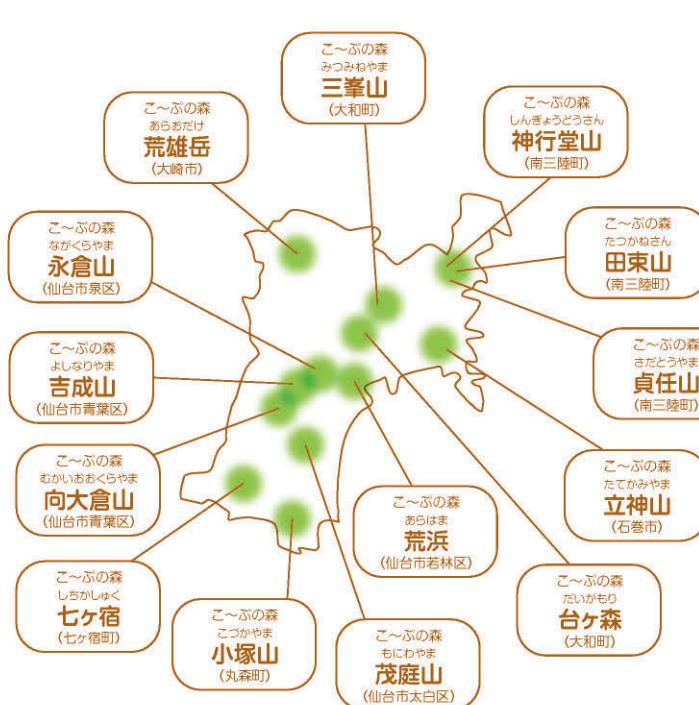


## メンバー(組合員)と進める環境活動

● こ～ぶの森



宮城県内の緑と自然を豊かにするために始まった「こ～ぶの森」の活動。アルミ缶や廃食油回収の売却益や「COOP緑の基金」に寄せられた募金を活用し、植林や下草刈などに取り組んでいます。また、メンバー(組合員)が参加できる活動として、春の植林体験会、秋の体験会などが開かれます。



こ～ぶの森は宮城県内14ヶ所に広がっています。



こ～ぶの森協賛企業様からの募金贈呈式



夏の森観察会



# 平和な社会の実現をめざして



## 平和な国際社会に向けて

生協は、商品を通じた国際貢献や開発途上国の子どもたちを支援するユニセフの活動を支援しています。また、原爆や戦争の悲惨さに目を向け、平和の大切さについて考える活動も続けています。

### ● メンバー(組合員)による国際貢献

#### ■ コープ商品を通じた貢献

##### CO・OPコアノンスマイルスクールプロジェクト

「コアノンロール」や「ワンタッチ芯までロール」を1パックお買い上げいただくごとに1円がアンゴラ共和国の「子どもにやさしい学校づくり」に寄付されます。



##### CO・OP×レッドカップキャンペーン

キャンペーン期間内に対象のコープ商品を1点お買い上げいただくごとに1円が国連WFP(世界食糧計画)に寄付されます。寄付金は、毎年指定された開発途上国の「学校給食プログラム」に役立てられます。



#### ■ ユニセフ 募金活動

店舗での募金箱やレジ募金、宅配注文書からの募金などを通じて、メンバー(組合員)とともにユニセフを支援しています。

##### 2022年度 ユニセフ募金額

(すべてみやぎ+ふくしま合計金額)

一般募金	7,828,341円
リサイクル(紙パック回収)募金	2,570,876円
リサイクル(ペットボトルキャップ回収)募金	168,649円
ウクライナ緊急募金	14,945,480円
パキスタン洪水緊急募金	500,000円
トルコ・シリア地震緊急募金	8,117,017円
合 計	34,130,363円

### ● 平和を守る活動



※「へいわの輪プロジェクト」2021年11月から2022年2月まで、毎日の暮らしの中で「しあわせ」や「へいわ」を感じ、心に残る絵本とコメントを募集しました。

憲法を学び活かす取り組みとして「松元ヒロスーパーイベント」や、みやぎ憲法九条の会から講師をお招きし「憲法学習会」を16回21会場(サテライト会場含む)で実施しました。

また、「しあわせ」や「へいわ」を感じる絵本を募集した「へいわの絵本プロジェクト」の絵本を宮城・福島の親子60組にプレゼントした他、保育施設に絵本寄贈の案内を送り、お申込みのあった263箇所に寄贈しました。プロジェクトに投稿があった絵本作家「松本春野講演会」や、絵本を展示巡回する絵本キャラバンを14会場で実施しました。



絵本でつなごう「へいわの輪」プロジェクトサイト▶



# ガバナンスヒ 概況



## 経営体制と意思決定

### ● 最高議決機関 総代会



みやぎ生協・コープふくしまでは、メンバー（組合員）の中から選ばれた「総代」による「総代会」で毎年の方針・事業計画などが決定されます。総代は、事業地域を基にした地域区と学校部職域区（宮城県のみ）の選挙区から選挙で選ばれます。

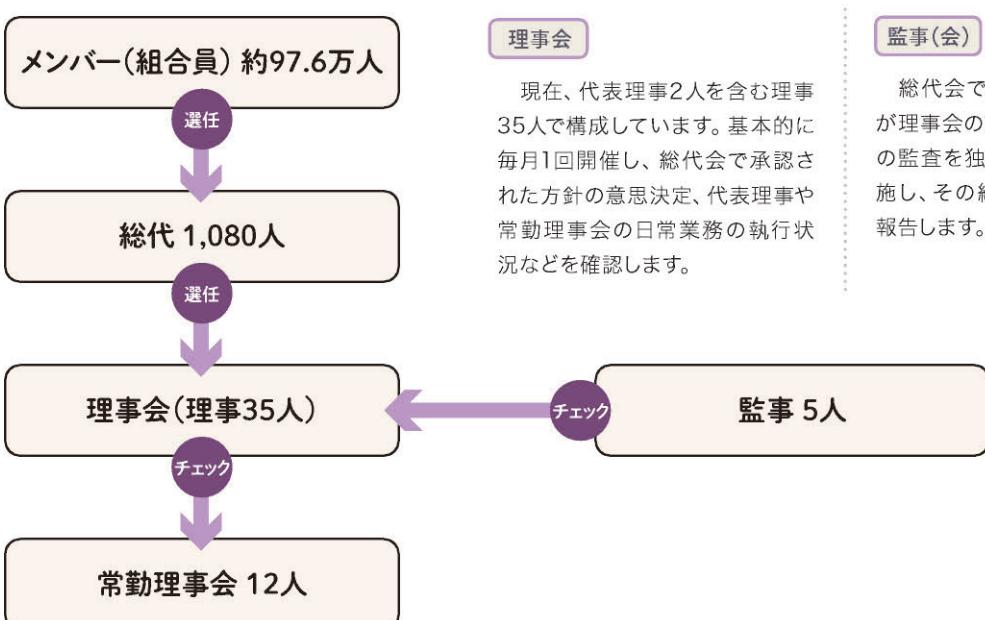
第42回（2023年）総代会 選挙区分 総代定数

	選挙区数	メンバー（組合員）数	総代定数
宮城県地域区	58	698,179人	839人
宮城県学校部職域区	8	8,687人	11人
福島県地域区	12	190,161人	230人
合計	78	897,027人*	1,080人

\*選出基準組合員数は、2022年12月20日現在の組合員数から住所不明及び未登録組合員数を除いた数です。

### ● 業務執行体制

日常的には各役員・本部長・部長が責任を持って、総代会の決定に基づき業務を執行します。また、監事は理事の職務の執行と会計監査などを行っています。



## 2019年 3生協が組織合同（みやぎ生協・コープふくしま・福島県南生協）

### ● 組織合同の概要

2019年度より、みやぎ生協、コープふくしま、福島県南生協の3生協が組織合同しました。

組織合同による目的は次の4つです。

- ① 事業革新とコスト構造改革
- ② スケールを生かした事業効率化
- ③ 福島県内での事業・組織率拡大
- ④ 人材の確保

「地域のメンバー（組合員）の暮らしの向上に貢献し続ける」という使命実現のため、組織合同という形で連携を強めました。



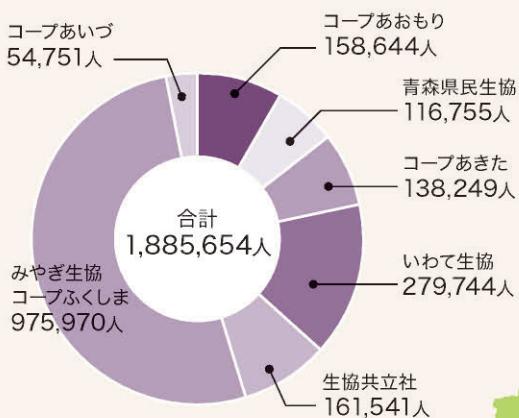
## 生活協同組合連合会 コープ東北サンネット事業連合

1995年にいわて生協、生協共立社、みやぎ生協が設立した事業連合で、商品仕入れを共同で行うことにより、それぞれの地域で事業経営力の強化を図ることを主な目的としています。現在は、東北6県7生協が加盟し、店舗事業、宅配事業、食品の安全安心、物流、システムなどの分野で統一・共同が進んでいます。（通称：コープ東北）

### ■コープ東北のデータ

- 代表  
代表理事 理事長 倉田秀昭
- 本部所在地  
宮城県仙台市泉区八乙女4-2-2
- 設立  
1995年5月12日
- 会員数  
東北6県7生協
- 供給高（会員生協への供給）  
1,324億64百万円

### ●会員生協の組合員数（2023年3月20日時点）

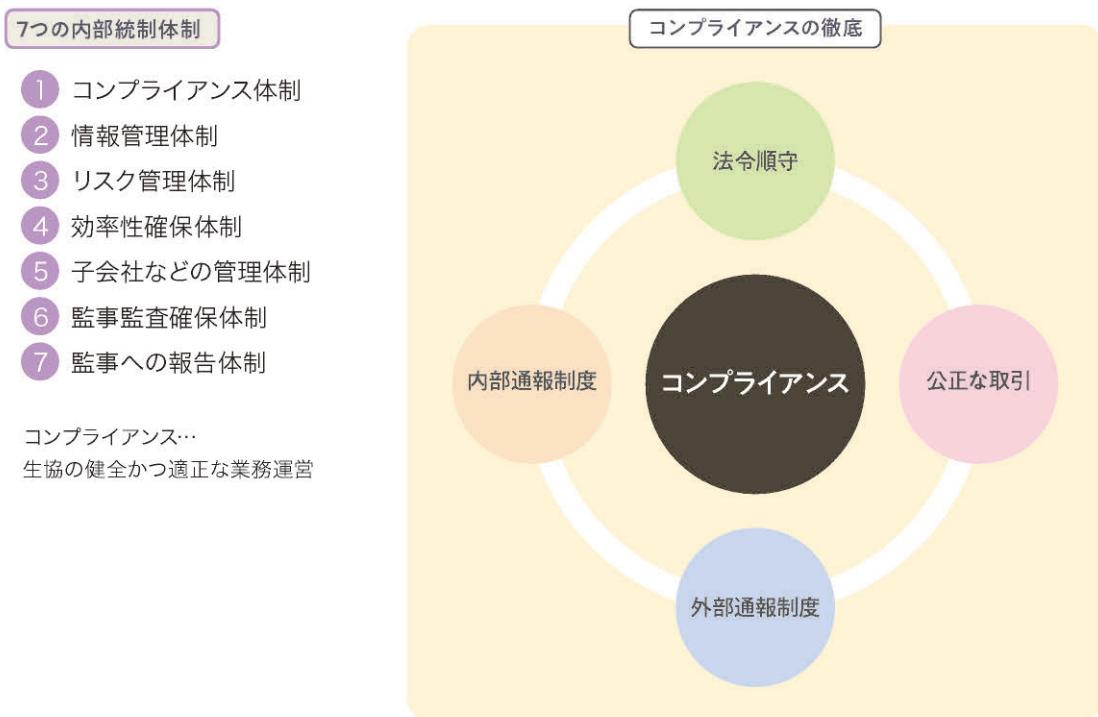


## ● 内部統制

みやぎ生協・コープふくしまでは、ステークホルダーとの協同・連帯を大切にしながら、業務の効率性、提供する商品やサービスの質の向上に努めています。

### ■ 内部統制システム整備 基本方針

みやぎ生協・コープふくしまは、内部統制システム整備に関わる基本方針を定め、7つの体制の整備を進めています。これにより、内部統制の4つの目的である、「事業活動に関するコンプライアンスの徹底」「職務の有効性と効率性」「財務報告の信頼性の確保」「資産の保全」の達成をめざして取り組んでいます。

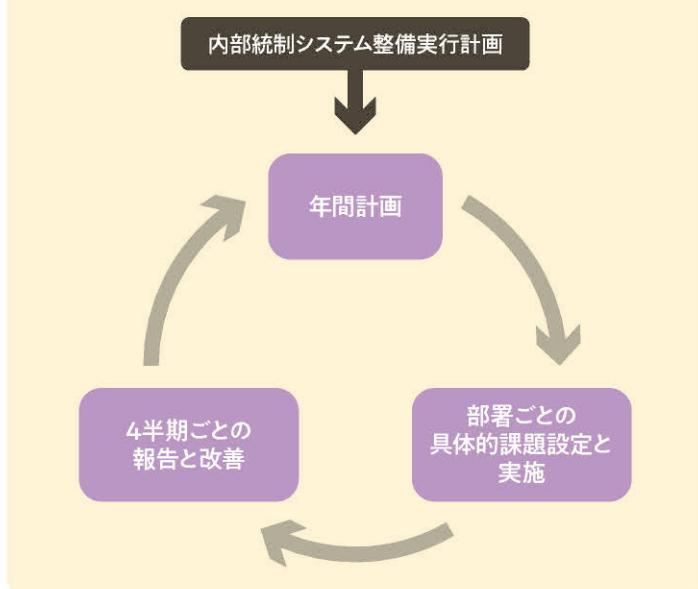


### 日常的な実行計画

みやぎ生協・コープふくしまでは、上記基本方針にもとづき、毎年「内部統制システム整備実行計画」を策定しています。年間の共通重点課題を設定するとともに、各部に内在するリスクを評価し、年間を通して継続してリスク管理に取り組んでおり、四半期に一度、課題の進捗状況を確認しています。

また日常的に各部でモニタリングを行い、リスク管理が適切に実行されているか検証するとともに、独立した立場から内部監査担当による内部監査を実施しています。

### 組織全体での内部統制システム整備実行サイクル



## ● みやぎ生協・コープふくしまの概況

(数字は2023年3月20日時点)

名 称 みやぎ生活協同組合

設 立 1982年3月21日

本部所在地 〒981-3194 宮城県仙台市泉区八乙女4-2-2

メンバーネット数 975,970人

### 組合員との取引価額総額

総額	136,271
● うち店舗事業	82,468
● うち宅配事業	46,321
● うちサービス事業	2,070
● うちエネルギー事業	5,151

(単位 百万円)

### 店舗・宅配事業所数

	みやぎ	ふくしま
店舗	49	12
● うち直営SM型	47	12
● うちA&COOP (農協と共同運営)	2	0
コンビニ	2	0
宅配センター	11	6

### 職員数

(出向者等を含む)

レギュラー職員	1,289
エリア職員	277
嘱託職員	432
パートナー職員	4,112
アルバイター職員	1,678
計	7,788

### 経営概況

ホームページに  
掲載しています。



### 子会社・関係団体一覧

法人名	主な事業内容
(株)宮城県学校用品協会	学校用品販売・アフタースクール事業・宅配水・コインランドリー
(株)コープエステート	不動産賃貸
(株)スクラムファイブ	ベーカリー
(株)コープストア	A & COOPの経営
(株)コープコンビニエンス	FamilyMart + COOPの経営
社会福祉法人 こーぷ福祉会	高齢者福祉・介護事業、保育園事業

発行日 2023年5月15日

発 行 みやぎ生活協同組合

〒981-3194 宮城県仙台市泉区八乙女 4-2-2

お問合せ先

●機関運営部

TEL.022-771-1590 FAX.022-773-1821

●環境活動に関する詳細は環境・サステナビリティ推進部

TEL.022-771-2461

HPアドレス

みやぎ生活協同組合 <https://www.miyagi.coop/>  
本報告書はホームページにて掲載、  
ダウンロードできます。



このパンフレットは水なし印刷で印刷し、  
カーボンオフセットしています。  
**CO<sub>2</sub>排出量**は、1部あたり**431g**  
でJWPAとCFCを通じてカーボン  
オフセットしました。

